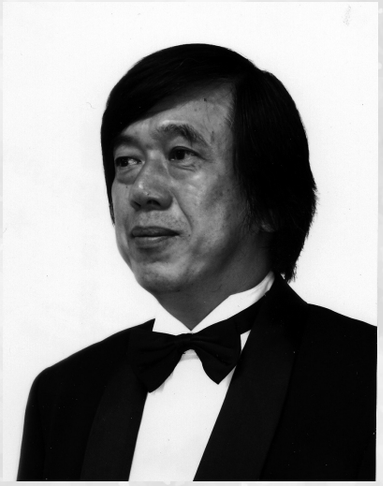
JCDA合唱の祭典2021

第21回北とぴあ合唱フェスティバル

2021
6.12 SAT
▼
6.20 SUN

主催：JCDA 日本合唱指揮者協会　共催：（公財）北区文化振興財団、北区合唱連盟
後援：東京都北区、東京都北区教育委員会、朝日新聞社、全日本合唱連盟、音楽之友社
カワイ出版、教育芸術社、全音楽譜出版社、Pana Musica、オペラアーツ振興財団
21 世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」、コーラス・カンパニー
ICOT 東京国際合唱機構、全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）

ごあいさつ



日本合唱指揮者協会 理事長 清水 昭

≪JCDA合唱の祭典2021～第21回北とぴあ合唱フェスティバル～≫開催にあたりご挨拶申し上げます。まずはじめに、新型コロナウィルス（COVID-19）感染により、世界中で355万人以上、日本国内でも1万3千人以上（5月末現在、ジョンズ・ホプキンス大学発表）の尊い命が奪われました事に対し、哀悼の意を表すと共に心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、感染者、重症者、死者を少しでも減らすべく戦い続けていらっしゃる医療従事者の皆様に心より労いと感謝の意を表します。

さて、昨年開催予定であった「JCDA合唱の祭典2020～第21回北とぴあ合唱フェスティバル～」は、新型コロナウィルスの影響により残念ながら「中止」という苦渋の決断をせざるを得ませんでした。そして今年につきましても三たび緊急事態宣言が発令されるなど文化・芸術活動、とりわけ私たちの愛する合唱活動にも制限が課され続けていて、言わば逆風を受けながらのフェスティバルとなりましたが、この状況下でも私たちができることは何か、この状況下だからこそやるべきことは何かを探りながら今年、２つの柱を軸とした企画を決定いたしました。

まず1つ目は「音楽の世界を深める26のオンライン講座」です。こちらは、6月12日（土）より6月20日（日）までの9日間、音楽・合唱に関する多種多様な講座が開かれます。初日午前中の「さまざまなウォームアップを学ぶ」にはじまり「Nコン課題曲講習会」「第二回田中信昭　合唱指揮マスタークラス」に至るまで連日行われる魅力溢れる講師陣による講座は、充実した時間になる事間違いないでしょう。なお、今年の12月31日までアーカイブ視聴ができるのももうひとつの魅力です。

そして2つ目は、スペシャルコンサート≪新しい時代のきざし～次世代の合唱指揮者育成プロジェクト～≫と題された演奏会です。昨年10月より今年の5月まで開催されました「JCDAコーラスアカデミー指揮法講座」の受講生6名と、前述した「田中信昭　合唱指揮マスタークラス」の受講生7名が成果を披露。藤井宏樹指揮 Ensemble PVD、松村努指揮 Combinir di Coristaの特別ステージもある楽しみな演奏会となりました。開演は最終日20日（日）の16時30分です。なお、この演奏会および19日と20日に行われるNコン課題曲講習会につきましては、有観客で開催し、生の演奏もお楽しみいただけますので、是非北とぴあさくらホールまでお越しください。もちろんオンラインでの配信も行います。

最後になりましたが、私共JCDA日本合唱指揮者協会主催の当フェスティバルの第1回開催時より多大なる御協力御支援をいただいております北区文化振興財団、北区合唱連盟の皆様に心より感謝申し上げると共に、今回の開催にあたりご協力いただきました全ての皆様に厚くお礼を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

講演会スケジュール

6.12 SAT	6.13 SUN	6.14 MON	6.15 TUE	6.16 WED
さまざまな ウォームアップを学ぶ 10:30 〜12:00 オンライン 佐藤美紀子, 鹿内芳仁, 金田典子 大門康彦,柴山秀明	グレゴリオ聖歌の真髄を学ぶ 10:30 〜12:00 オンライン 花井哲郎	NO CLASS - - -	NO CLASS - - -	NO CLASS - - -
おうちで踊ろう、バロックダンス! 13:00 〜14:30 オンライン 市瀬陽子	Nコン作編曲者が語る!楽曲分析講座① 『好奇心のとびら』 13:00 〜14:30 オンライン 横山裕美子	NO CLASS - - -	NO CLASS - - -	NO CLASS - - -
清水敬一 日本の合唱史を語る 〜新実徳英・信長貴富の両氏をお迎えして〜 15:00 〜16:30 オンライン 清水敬一, 新実徳英, 信長貴富	明るく美しい響きで歌うための発声講座 〜木下牧子作品を題材にして〜 15:00 〜16:30 オンライン 藤澤幸義子	NO CLASS - - -	NO CLASS - - -	NO CLASS - - -
学校教材から学ぶ指揮法 17:00 〜18:30 オンライン 古橋富士雄	おうちで出来る! 合唱人のための アレクサンダーテクニーク 17:00 〜18:30 オンライン 香西克章	NO CLASS - - -	NO CLASS - - -	NO CLASS - - -
ギリシア神話と音楽を語る 19:30 〜 21:00 オンライン 青島広志	TRY-TONEとアカペラを学ぼう! 19:30 〜 21:00 オンライン TRY-TONE	『夢の意味』の意味 〜リンポウ先生の詩作論〜 19:30 〜 21:00 オンライン 林望	Nコン作編曲者が語る!楽曲分析講座② 『彼方のノック』 19:30 〜 21:00 オンライン 土田豊貴	Nコン作編曲者が語る!楽曲分析講座③ 『足跡』 19:30 〜 21:00 オンライン 上田真樹

6.17 THU	6.18 FRI	6.19 SAT		6.20 SUN
NO CLASS - - -	NO CLASS - - -	キリスト教と合唱 10:30 〜12:00 オンライン 金澤正剛	第二回 田中信昭 合唱指揮マスタークラス① 10:00 〜11:30 オンライン 田中信昭	Nコン課題曲講習会小学校の部 『好奇心のとびら』 10:00 〜11:30 北とぴあ+オンライン 藤原規生, 横山裕美子 八千代少年少女合唱団
NO CLASS - - -	NO CLASS - - -	「こどものうた」の行方 Vol.4 〜成長期の健康な歌声を求めて〜 13:00 〜14:30 オンライン 戸﨑文葉	第二回 田中信昭 合唱指揮マスタークラス② 12:20 〜13:50 オンライン 田中信昭	第二回 田中信昭 合唱指揮マスタークラス④ 12:00 〜13:30 オンライン 田中信昭
NO CLASS - - -	NO CLASS - - -	声楽発声のための理論と実践 15:00 〜16:30 オンライン 川上勝功, 竹田数章	第二回 田中信昭 合唱指揮マスタークラス③ 14:10 〜15:40 オンライン 田中信昭	第二回 田中信昭 合唱指揮マスタークラス⑤ 13:50 〜15:20 オンライン 田中信昭
NO CLASS - - -	NO CLASS - - -	NO CLASS - - -	Nコン課題曲講習会 中学校の部 『足跡』 16:00 〜17:30 北とぴあ+オンライン 仁階堂孝, 上田真樹 松戸ユースクワイア	スペシャルコンサート 新しい時代のきざし 〜次世代の合唱指揮者育成 プロジェクト〜 16:30 〜 18:00 北とぴあ+オンライン
音楽のイントネーション講座 -合唱表現のための - 19:30 〜 21:00 オンライン 相澤直人	音楽用語のイタリア語から 見えてくる音楽の姿 19:30 〜 21:00 オンライン 森田学	NO CLASS - - -	Nコン課題曲講習会高等学校の部 『彼方のノック』 18:00 〜19:30 北とぴあ+オンライン 清水敬一, 土田豊貴 松戸ユースクワイア	

※諸般の事情によりスケジュールの変更・中止の場合もございます。最新の情報は公式ホームページにてご確認ください。

さまざまなウォームアップを学ぶ

6月12日(土)10:30〜12:00　オンライン開催（Vimeoを利用したオンデマンド配信）

▶ 受講者へのメッセージ

合唱練習にとって練習開始のウォーミング・アップは、その日の練習を効果的に充実させるための重要な時間。指導者にとって手腕が問われるところでもあります。本フェスティバルでは、そのウォーミング・アップに特化した講習会をご用意しました。それも5名の経験豊富な実力派の講師の先生方のリレー方式。明日からの指導にきっと生かせること、間違いなしです!

プロフィール

金田典子（NHK東京児童合唱団常任指揮者・日本大学芸術学部講師）

日大芸術学部音楽学科声楽専攻卒業。同学芸術研究所修了。声楽を渡辺馨、合唱指揮法を大谷研二に師事。声楽ではソプラノジョイントリサイタルを開催するほか、ミサ曲のソリストを務めるなど演奏活動を行ってきた。指揮ではＮＨＫ全国学校音楽コンクール課題曲初演をはじめＮＨＫの番組での演奏や指導、国内外の数々のオーケストラやオペラ公演の合唱指揮やＣＤ録音、合唱音楽の追及に力を注ぎ、老若男女の合唱指導に取り組んでいる。
JCDA日本合唱指揮者協会実行委員、日本大学芸術学部音楽学科講師。
ＮＨＫ東京児童合唱団常任指揮者、全日本幼児教育連盟顧問、日本演奏連盟会員、日本声楽発声学会会員、埼玉県合唱連盟理事

佐藤美紀子（清泉女学院中学高等学校非常勤講師、 音楽部顧問）

横浜国立大学にて植物生態学を学び、清泉女学院教頭職を経て、現在、同校理科講師。指揮法を故関屋晋氏に師事し、1998年より清泉女学院中学、高等学校音楽部を指導、全日本合唱コンクール、声楽アンサンブルコンテスト全国大会連続金賞、文部科学大臣賞他特別賞受賞に導いている。国外ではEuropean Choir Games Graz、バードイシュル国際合唱コンクール、ラトヴィア "RIGSA SINGS" にてグランプリ選優勝、優秀指揮者賞を受賞、これらの功績により神奈川県功労者表彰授与。現在、神奈川県合唱連盟理事。ユース育成と現代宗教曲の普及を目的に、清泉卒業生の団体"La Pura Fuente"と共に活動の幅を広げている。

鹿内芳仁（声楽家・合唱指揮者）

国立音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部特待生修了。声楽を大谷洌子・田島好一・布施隆治・渡邊誠、指揮法を溝上日出夫・髙田三郎の各氏に師事。学生時代、顧問が髙田三郎氏の髙田三郎混声合唱団団長、学生指揮者を歴任、９７年まで藤原歌劇団合唱部所属、９０年代まで、東京オペラシンガーズ、東京カンマーコールなど他団の定演、芸術鑑賞教室にテノールパート参加、国立音中合唱部指揮者歴任。ソロ活動は９２年ヤングプラハ国際音楽祭日本代表、世界交流基金トルコ・ベトナム公演、国連本部とカーネギー第九ソロなど。現在　日本演奏連盟会員、国立音楽大学附属中学・高校講師、藤原歌劇団団員、日本合唱指揮者協会会員。

柴山秀明（声楽家・合唱指揮者）

国立音楽大学卒業。ミラノで声楽・演劇を学ぶ。コーラス指導、そして歌手、役者、声優等へのヴォイストレーナーとして、高い評価を得ている。また自ら「チャーリーとチョコレート工場」「ニューシネマパラダイス」等映画吹替やCM・ラジオドラマ出演など声と演技を生かし幅広く活躍中。「フィガロの結婚」「椿姫」「メリー・ウィドウ」等のオペラやミュージカル・演劇に多数出演。近年オペラでは2014年日生劇場オペラ「アイナダマール」、2016年藤原歌劇団公演「ドン・パスクワーレ」2018年3月、パーヴォ・ヤルヴィ＆N響『ウエスト・サイド・ストーリー』出演などで好評を得ている。藤原歌劇団所属。JCDA日本合唱指揮者協会理事。

大門康彦（声楽家・合唱指揮者）

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業後、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院に留学。在欧中は、ドイツ、ザンクト・ツェノ教会専属バス歌手。藝大在学中より、辻 正行氏のもとで合唱指揮を始める。声楽を、小澤慎一郎、高折　続、渡邊高之助、各氏に師事。発声法を、ルドルフ・クノル氏に、ドイツ歌曲を、トム・ボレン、ロベルト・ホル、ハンス・ホッター各氏に、オラトリオ重唱、解釈をヴァルター・ラニンガー氏に師事。
「墨田5000人の第九」をはじめ、「世田谷区民第九」「所沢第九を歌う会」など大合唱の指導のほか、現在10団体の合唱団の常任指揮者を務める。８１アクターズスタジオ講師、日本合唱指揮者協会理事。

おうちで踊ろう、バロックダンス!

6月12日(土)13:00～14:30　オンライン開催（特設サイトを利用したオンデマンド配信）

▶ 受講者へのメッセージ

バロックダンス？　歌との関係は？　今すぐに、自分で動いて試しましょう! 大切なのは「無理のない姿勢」と「自然な動作」。ダンスのステップは「歩く」ことから編み出され、音楽との関係が描き出されます。そして踊りはもちろんのこと、バロック時代の舞踏会では、立ち姿、歩き方、お辞儀の作法...すべてに視線が注がれました。現代に置き換えれば、ステージマナーやコミュニケーションのスキルにも通じるところです。そうした文化的・社会的な意味も視野に入れながら、易しいメヌエットをご一緒します。ご家族や親しい方々をお誘い頂き、演奏もダンスも、みんなで楽しみましょう。今だからこそ!そしてその楽しさを、これからの表現に繋げましょう。

プロフィール

市瀬陽子（古典舞踏）

立教大学、東京芸術大学卒。舞踊史研究者、ダンサー、振付・演出家。ダンス・ユニット"セーヌ・エ・サロン"を率いてサントリーホール主催企画（2009/2012）にて振付作品を発表。出演作においては衣装・美術も手がけ、バロック・ダンスによる舞台作品《ラ・ヴェルサイエーズ la Veraillaise! 》等を制作。オペラやバレエ作品のための振付・演技指導、JPTA、PTNAにおける講座、子どもを対象にした企画にも積極的に取り組む。著作に『バレエとダンスの歴史』（平凡社）、DVD『時空の旅～バロックダンス・ファンタジー』（解説、エリアビー）、『バロック・ピアニストへの道～フランスの舞曲編』（舞踊監修、学研プラス）等。聖徳大学准教授、東京芸術大学講師。

学校教材から学ぶ指揮法講座
～小・中学校の先生のために～

6月12日(土)17:00～18:30　オンライン開催（Vimeoを利用したオンデマンド配信）

▶ 受講者へのメッセージ

合奏や合唱のように大人数で演奏をする時、「音出し」のきっかけを何らかの手段で与えられることを必要とするようになります。古代ギリシャではリーダーが足を踏んで拍を取りました。15～16世紀の多声音楽になると演奏者の中からある特定の方（現在のコンサートマスターのような人）が必要に応じて合図を送りました。最初の音が揃うと次に必要なのは、演奏中のテンポの乱れを制御するようになり、硬い棒や杖のようなもので床を叩きました。それは演奏中、常に雑音を出していることにもなります。そこで、床を叩くのではなく、空間を叩いてその効果を出すことが考えられるようになりました。それが指揮法です。今回は初めて指揮をなさる先生や、あまり指揮をすることに慣れていない先生方に向けて、学校の教科書を使用して指揮をする喜びを学びます。

プロフィール

古橋富士雄（NHK東京児童合唱団名誉指揮者）

指揮法を斎藤秀雄、高階正光、紙谷一衛、作曲を島岡譲、矢代秋雄、ピアノを宮島敏の各氏に師事。これまでにオペラ界の草分け的存在である原信子オペラ研究所の専属ピアニスト、NHK東京児童合唱団常任指揮者（音楽監督）、桐朋学園大学音楽学部講師、東京家政学院短期大学講師、日本合唱指揮者協会理事長、浜松市アクトシティ音楽院音楽監督、NHK「Nコンon　the　Web」の解説者を歴任する。現在10の合唱団の音楽監督を務める他全国各地の講習会、コンクールの審査等、常に合唱界の指導的立場を担っている。また、2013年9月より福島県相馬市の子供達を対象に東日本大震災の復興支援活動としてエル・システマジャパンの合唱・音楽監督として指導にあたっている。現在NHK東京児童合唱団名誉指揮者、日本コダーイ協会理事、日本合唱指揮者協会常任相談役。

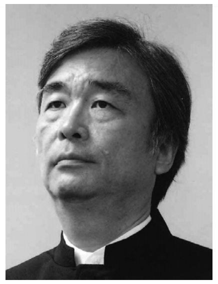
野間春美（Pf.）

桐朋学園大学音楽学部音楽科ピアノ専攻を経て同大学研究科を修了。第５回友愛ドイツ歌曲コンクールにおいて優秀伴奏者賞受賞。第７回日本室内楽コンクール入賞。これまでNHK交響楽団や東京交響楽団のメンバーをはじめ数々のソリストと共演。NHK-FM「土曜リサイタル」「FMリサイタル」BS-TBS「日本名曲アルバム」に出演。学校音楽教材などのレコーディングに多数携わる他、コンクール等の共演者として信頼も厚い。桐朋学園大学嘱託演奏員、新国立オペラ研修所ピアニスト。

藤澤幸義子（Sop.）　（→P.8）

清水敬一 日本の合唱史を語る
～新実徳英・信長貴富の両氏をお迎えして～

6月12日(土)15:00～16:30　オンライン開催（Zoomウェビナーによるライブストリーミング配信）



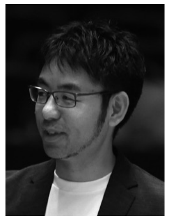
▶ 受講者へのメッセージ

「日本合唱史」は、JCDAコーラスアカデミーのプレ開講で、4回にわたってお届けしましたが、今回は、作曲家の新実徳英さん・信長貴富さん、という素晴らしいゲストの方をお迎えして、違った角度から考察を加える予定です。現在、合唱作品の演奏機会が最も多い信長さんと、40年以上素晴らしい合唱作品を生み続けてくださっている新実さんに、存分に語っていただきたいと思っています。日本の合唱の今の状況から始め、過去を振り返っていく流れで90分間を進められれば、と考えています。私を含め、3人とも、偶然に猪年ですが、世代の違いによって異なる視点が浮かび上がることもあるでしょう。多岐にわたる話題が立ち上がることを期待しています。

プロフィール

清水敬一（合唱指揮者）

1959年5月東京生まれ。1982年3月早稲田大学理工学部電気工学科卒業。指揮法を遠藤雅古、V.Feldbrill、合唱指揮を関屋晋の各氏に師事。現在およそ20の合唱団の指揮を任される。各地で合唱とオーケストラのための作品のコーラスマスターを務め、初演した作品も数多い。世界合唱シンポジウムに於いて講師を務める。国内外の音楽祭・作曲コンクール・合唱コンクールの審査員を歴任。著書に『合唱指導テクニック』、『合唱指揮者という生き方　私が見た「折々の美景」』。現在、全日本合唱連盟及びJCDA日本合唱指揮者協会理事、東京芸術大学及び附属音楽高等学校講師。



© 山口 敦

信長貴富（作曲家）

1994年上智大学文学部教育学科卒業。1994・95・99年朝日作曲賞（合唱曲）、1998年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第１位、2000年現音作曲新人賞入選（室内楽曲）、2001年日本音楽コンクール作曲部門（室内楽曲）第２位などを受賞。多数の合唱曲のほかに、歌曲、器楽作品など多岐にわたる。「信長貴富歌曲集」「こどものためのピアノ曲集 スタートダッシュ」ほか出版多数。近年ではオーケストラや器楽アンサンブルを伴う合唱作品や、合唱のためのシアターピースも多く手がけている。

新実徳英（作曲家）

東京大学卒、東京藝術大学卒、同大学院修了。オペラ「白鳥」、管弦楽は「風神・雷神」他多数で国内外で演奏されている。受賞歴はジュネーヴ国際バレエ・オペラ音楽作曲コンクールグランプリ、尾高賞、中島健蔵音楽賞、文化庁芸術祭大賞、別宮賞等多数あり。器楽、室内楽、邦楽作品も多く、特に声楽・合唱作品に顕著で、谷川雁との共作「白いうた青いうた」53曲、和合亮一詩「つぶてソング」12曲は広く歌われている。福島・東京で開催されてきた「つぶてソングの集い」は数度に渡りウィーンフィル＆サントリー音楽復興祈念賞を受賞。桐朋学園大学院大学教授、東京音楽大学客員教授歴任。公式webサイト https://tokuhideniimi.com/でブログを更新中! Twitter アカウント @tokuhideniimi

青島広志 ギリシア神話と音楽を語る

6月12日(土)19:30〜21:00　オンライン開催（Vimeoを利用したオンデマンド配信）

©Gakken Plus

▶ 受講者へのメッセージ

マドリガルを歌おうとすると、ギリシア神話の登場人物が沢山出て来ます。モンテヴェルディだけでも、ヒアキントス、ナルシス、アモール、クローリ、アリアンナ、テーゼオ、ゼフィーロ、マルス、フェーヴォとは誰で、どんな物語に登場するのかを、すぐに言える人は、そう多くはないのでは？本講座は、絵と音楽で楽しく理解できる画期的な教養講座です。少女漫画研究家としても、今だにピアニストとしても活躍する講師を、画面でとくとご覧下さい。　（順に、ヒアシンスに変身した少年、水仙になった自己愛者、愛の神、西風に愛された妖精、クレタ島の王女、アリアンナの不実な恋人、西風の神、戦いの神、太陽神アポロンの別称です。わかるかな？）

プロフィール

青島広志（東京藝術大学講師・作曲家）

1955年東京生まれ。少女漫画家を目指すが、初期は作曲家として活動する。作品には声楽曲が多く、合唱曲「マザーグースの歌」オペラ「火の鳥」歌曲集「ビリティスの歌」ピアノ曲「泰西名画集」管弦楽曲「その後のピーター」吹奏楽曲「パレード」などが今でも演奏されている。ピアノ奏者としても活動し、多くの管弦楽団・合唱団・歌劇団と共演。指揮者としても「世界丸ごとクラシック」「パレエ音楽ってステキ」ほか大規模な会を任されている。「題名のない音楽会」ほかTV出演も多い。執筆活動も盛ん。東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学客員教授。日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。離婚の多い音楽界を憂い独身を通すが、愛犬（女性）と同棲中。

磯地美樹 (Mezzosoprano)

東京藝術大学声楽科卒業。同大学別科修了。二期会オペラ研修所第43期マスタークラス修了。同オペラ・プロフェッショナルコース修了。ドイツ・ヴァイマールリスト音楽大学に留学、Aufbau A 修了。「カルメン」や「魔笛」、「ヘンゼルとグレーテル」や「ワルキューレ」、「蝶々夫人」などのオペラやコンサートなどに多数出演。ドイツ、チェコ、スペイン、トルコ、ザルツブルグ、ハンガリー等でコンサートに出演。2016、17、18年、愛知、神奈川、大分にて「魔笛」に出演。20年、二期会「椿姫」にアンニーナ役で出演。二期会会員。聖徳大学兼任講師。

花井哲郎 グレゴリオ聖歌の真髄を学ぶ

6月13日(日)10:30〜12:00　オンライン開催（Zoomウェビナーを利用したライブストリーミング配信）

▶ 受講者へのメッセージ

グレゴリオ聖歌という単語は知っているものの、どんな歌なのか、あまり良く分かっていない方が多いのではないでしょうか。そもそもすごく古い音楽だろうから現代の私たちにはあまり関係なさそう？西欧の音楽はグレゴリオ聖歌を根っことして芽生えていったものだし、1000年以上の間、今でも生きた典礼の音楽として歌われています。古い写本に記されたネウマという聖歌の記譜を読み解くことで、そもそも言葉を歌うということに対する基本的なアプローチを学ぶこともできます。よく知られたクリスマスの聖歌を古ネウマを手がかりに歌うことで、その「真髄」に迫りましょう!

プロフィール

花井哲郎（古楽演奏家）

1996年以来ア・カペラの声楽アンサンブルである「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」の音楽監督としてグレゴリオ聖歌とルネサンス音楽の演奏を続ける。好評リリース中のCDアルバム：ジョスカン・デ・プレのミサ曲全集は間もなく完結する。また声楽と器楽による「古楽アンサンブル コントラポント」のリーダーとして、主にバロック時代の宗教音楽演奏に取り組み、モンテヴェルディ「聖母のタベの祈り」のライブ録音をリリース、ハイ・レゾ配信されている。長野県の原村で「はらむら古楽祭」を企画開催、古楽の新しい楽しみ方を提唱する。フランス・バロック宗教音楽を専門とする「合唱団フォンス・フローリス」指揮者、また様々な古楽アンサンブルの指揮、指導を行う。「フォンス・フローリス古楽院」院長、国立音楽大学講師。

明るく美しい響きで歌うための発声講座
〜木下牧子作品を題材にして〜

6月13日(日)15:00〜16:30　オンライン開催（Vimeoを利用したライブストリーミング配信）

▶ 受講者へのメッセージ

歌うための発声はただ単に声を聴かせるものではなく、音楽と詩を表現する為の手段です。無理のない自然な発声には常に息の流れがあり、響きの明るさや音楽の表現に必要なレガートな音の運び、そして明瞭な発語にもつながります。この講座では、まず発声の基本的な理論の説明、そして木下牧子作品を題材として、楽曲を通して具体的な発声法、母音の運び方、発語のポイントなどを実践的に説明していきたいと思います。

参考楽譜：『月の角笛』（カワイ出版）より、ほんとにきれい・夕顔・かぜとかざぐるま

プロフィール

藤澤幸義子（合唱指揮者・声楽家）

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。声楽を工藤勇壹、菊池初美、松本美和子、三縄みどりの各氏に、日本歌曲を瀬山詠子氏に師事。第28回、第29回奏楽堂日本歌曲コンクール歌曲部門に2年連続で入選。2018年4月の第一回ソプラノリサイタルでは、日本歌曲の情感溢れる繊細な表現から、スケールの大きいオペラアリアの日本人離れしたダイナミックな歌唱まで、深く艶のある声で表現し好評を博した。また合唱指揮者として、児童から大人まで幅広い世代の合唱団を指導・指揮し、コンクール入賞、全国大会へと導いている。ヴォイストレーナーとしてもシンプルでわかりやすい発声の指導法に定評があり、多くの合唱団の合唱活動を支えている。JCDA日本合唱指揮者協会理事。

山中惇史（Pf.）

東京藝術大学音楽学部作曲科・ピアノ科両科を卒業。同大学院作曲専攻修了。第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位。ピアニストとしては2018年にリサイタルデビュー、また共演者として信頼も厚く国内外の著名なアーティストから指名を受け共演を重ね、参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。ピアニスト・作曲家の高橋優介とのピアノデュオ『176』(アン・セット・シス)としても活動中。東京芸術大学非常勤講師。Twitter→@ginyamagin　Instagram→@yamanaka.atsushi

おうちで出来る! 合唱人のためのアレクサンダーテクニーク
〜自由と調和を求めて〜

6月13日(日)17:00〜18:30　オンライン開催（Vimeoを利用したライブストリーミング配信）

▶ 受講者へのメッセージ

合唱、音楽を愛する皆さん!ともに生き、歌い、そして、その行為は世界を少しでも良い方に向かわせる力を有している! ー そのことをご存知の合唱歌手の皆さん!ご自身の“声”は自由ですか？思い通りの“声”でしょうか？ 従来の“声”のトレーニングは、いわゆる多くの“How to”(＝こうやってみる・ああやってみる)で、満ちておりました。しかし、アレクサンダー・テクニーク（英国王立音楽院やジュリアード音楽院で必修とされている）は、部分的に“ああする・こうする”ではなく、心・身体を含めた“全体の使い方”を学びます。すると驚くほど楽に自由に、あなたの深いところから“声”はやってきます。一何かを“する”のでなく、自然に起こること! ー をお伝えしたいと考えております。

プロフィール

香西克章（指揮者・Alexander Technique Teacher (英国アレクサンダーテクニーク指導者協会(STAT)認定・トランペット奏者）

広島県出身。高山顕・千晶両氏に音楽を学ぶ。松崎祐一、中山冨士雄、関山幸弘、C.ゴードン、C.リーチ各氏にトランペットを学ぶ。合唱指揮者栗山文昭、現代詩人粒来哲蔵両氏に出会い、大きな影響を受ける。1986年より指揮を高階正光氏(斎藤指揮法)に学ぶ。1994年国立音楽大学卒業。在学中より、ヴァイオリンのS.エドヴァルツドッティル氏との共演など、オーケストラ、ブラスバンド、合唱と指揮活動を行っている。中国、ドイツ、クロアチア、チェコ等、海外でコーラスマスターを勤める。21世紀の合唱を考える会合唱人集団「音楽樹」会員。ＮＰＯ法人「天籟」講師。朝日カルチャーセンター新宿・立川・横浜 講師。

安藤政悠（AT教師（STAT認定））

アレクサンダー・テクニーク教師(英国アレクサンダーテクニーク　指導者協会［STAT］認定)埼玉県出身。小学4年生の頃に児童劇団へ入団。芝居、ダンス、ボーカル、日本舞踊など様々な芸事に広く触れる。ボーカルをMareるみ氏などに師事。中学2年の頃に声楽を習い始め、現在に至るまで松村健太郎、黒田彰の各氏に師事。武蔵野音楽大学声楽学科を卒業。2017年にAT教師(STAT)により認定される。現在はアレクサンダーテクニーク 教師の活動をしつつ、自然農法に則った野菜作りを模索中。

松谷奈緒子（AT教師（STAT認定））

5歳からピアノを始める。桐朋学園音楽学部付属子供のための音楽教室にてソルフェージュを学ぶ。国立音楽大学卒業、同大学ピアノ指導コース修了。大学在学中に授業でアレクサンダーテクニーク(以下AT)を知り、個人レッスンを受け始める。大学卒業後、アレクサンダーテクニークスタジオ東京にて3年間の教師養トレーニングを経て、アレクサンダー・テクニーク教師(英国アレクサンダー・テクニーク指導者協会[STAT])に認定される。現在はピアノ講師、AT教師として活動。

TRY-TONEとアカペラを学ぼう!

6月13日(日)19:30〜21:00　オンライン開催（Vimeoを利用したオンデマンド配信）

▶ 受講者へのメッセージ

ハーモニーを愛する皆様こんにちは、トライトーンです。今年もまたPop＆Jazzアカペラのワークショップを担当させていただきます。トライトーンのアレンジによる「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」を題材に、Pop＆Jazzアカペラの基本についてレクチャーをさせていただきます。等速のテンポの作り方そしてその中での各々のリズムの感じ方、コード進行を意識しながらそのコードの色合いを出す歌い方、メロディ・ハーモニー・ベースパートのそれぞれの特徴とそのフレーズの歌い方など、トライトーンならではの視点で、音楽の３大要素（リズム・メロディ・ハーモニー）をどのように絡ませて奏でていくかを実演を交えながらお届けします。どうぞお楽しみに!

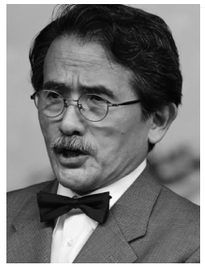
プロフィール

TRY-TONE（アカペラグループ）

卓越したハーモニーでアカペラ界を牽引する混声アカペラグループ、トライトーン。1994年、ビクターから「エトワール〜12の星物語」でデビュー。2001年全米アカペラ協会のジャズ部門で日本人のグループで初めて「年間ディスク大賞」を受賞した。2009年にはプロ野球クライマックスシリーズにおいて東京ドームで国歌斉唱。トライトーンの魅力は、生き生きとしたリズム、人の声とは思えないヴォイスパフォーマンス、音楽のジャンルを問わない選曲。ユニークなアレンジでオリジナリティ溢れる「TRY-TONEサウンド」を作り出している。笑いあり涙あり、変化に富んだ心温まるステージは世代を超えて多くの人々を魅了し続けている。

『夢の意味』の意味

6月14日(月)19:30〜21:00　オンライン開催（Vimeoを利用したオンデマンド配信）



▶ 受講者へのメッセージ

『夢の意味』が東京混声合唱団によって委嘱・初演されてから、早くも14年経った。この作品は、もう合唱音楽としてのスタンダードになった感があり、初演の混声四部合唱から、男声・女声それぞれの合唱に編曲されて日本各地老若男女の合唱団によって歌われている。とはいえ、果してほんとうにどのくらいこの詩の意味を味読感得して演奏してくれているだろうかと、ふと不安に思うことがある。音楽としてとても美しい作品であることは作曲者上田真樹の力であるが、それだけに、ただ美しいだけで満足しているような感じの演奏も散見される。作詩者として、この詩の持つある苦さや虚無性ということについて、この際語っておくのも無駄ではないと考えた。

※ 参考楽譜　混声合唱とピアノのための組曲『夢の意味』(全音楽譜出版社刊)

プロフィール

林 望（詩人・国文学者）

慶應義塾大学大学院博士課程満期退学。元東京藝術大学助教授。『謹訳源氏物語』（全十巻）で毎日出版文化賞特別賞受賞。エッセイ、小説、能楽など著書多数。歌曲の詩作に、伊藤康英作曲歌曲集『行け、わが想い』等、野平一郎作曲歌曲集『English　Winds』『悲歌集』、佐藤眞作曲合唱組曲『美しい星に』等、上田真樹作曲合唱組曲『夢の意味』『鎮魂の賦』『まほろば』等、二宮玲子作曲オペラ『MABOROSI』、組歌曲『旅のソネット』等。ほか浜松市歌、ＪＲ東海社歌、慶應義塾横浜初等部校歌、小金井市歌、小金井市民愛唱歌を詩作。勝又晃氏、田代和久氏に師事して声楽を学び、混声重唱団「重唱林組」等を主宰。近年はテノール北山吉明氏と「Duo Dottorale」を結成して各地で演奏し好評を博す。

音楽のイントネーション講座
ー 合唱表現のための ー

6月17日(日)19:30〜21:00　オンライン開催（Zoomウェビナーを利用したライブストリーミング配信）

▶ 受講者へのメッセージ

詩を解釈し、言葉を表現することに夢中になっていませんか？ 詩は作曲家が解釈しています。皆さんは、詩を解釈した作曲家が書いた音楽を解釈すべきなのです。この講座では、私が常に大切にしている「リズムのイントネーション」「フレーズの重心」「音色」「解像と階調」の4項目についてを皆さんと共有したいと思います。それらを習得することにより、曲が喜び、言葉もより輝くのです。

プロフィール

相澤直人（指揮者・作曲家）

東京都出身。東京藝術大学作曲科及び指揮科の両科に学ぶ。現在、アイザワノーツ合同会社代表、JCDA日本合唱指揮者協会副理事長、東京都合唱連盟理事、東京藝術大学及び洗足学園音楽大学講師などを務める。指揮者としては、あい混声合唱団、女声合唱団　ゆめの缶詰他多くの合唱団の音楽監督、常任指揮者を務め、客演の依頼も多い。特に、邦人作品における解釈と表現に評価を得ており、作曲家やピアニストからの信頼も厚い。一方、作曲家としても活動中で、代表作「ぜんぶ」をはじめ、多くの作品が出版され愛唱されている。また、「たしかな芸術」「曲が喜ぶ演奏」をモットーとした活動は共感を呼び、各地から講習会講師、コンクール審査員などで招聘されている。

音楽用語のイタリア語から見えてくる音楽の姿

6月18日(金)19:30〜21:00　オンライン開催（Zoomウェビナーを利用したライブストリーミング配信）

▶ 受講者へのメッセージ

音楽の世界でコミュニケーションをはかる際の言葉が楽語です。世界には色々な音楽がありますが、その多くは西洋音楽（クラシック音楽）の影響を受けている場合が少なくありません。楽語は、専門家しか理解できない、難解な数式のような特殊な言葉ではなく、日常で使われる言葉がベースになっています。英語やドイツ語、フランス語による楽語もありますが、西洋音楽を全体的に見てみるとやはりイタリア語が圧倒的に多いと思います。本講座では、「クレシェンド」や「レガート」「カンタービレ」といった楽語をイタリア語としても理解することで、音楽ともっと深く対話できるようになることを目指します。

参考図書：「改訂新版　音楽用語のイタリア語」（三修社、2013年）

プロフィール

森田 学（声楽家・声楽指導者）

香川県高松市出身。声楽家、イタリア音楽研究・声楽指導者。声楽家としては、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。原田茂生、ルイーザ・マラリアーノ、エンツォ・コンスーマの各氏に師事。1997年にロッシーニ《オリ伯爵》家庭教師役でオペラ・デビュー（E.マッツォーラ指揮）。これまで、ジェノヴァのカルロ・フェリーチェ劇場（アウディトーリウム）シーズン公演《コシ・ファン・トゥッテ》ドン・アルフォンソ役（全6回公演）、新国立劇場小劇場PITオペラ公演《友人フリッツ》アネゾ役、メキシコ『セルバンテス芸術祭』オープニング公演《夕鶴》惣ど役、『セヴラック国際音楽祭』《風車の心》粉挽きの老人役などを演じている。オペラのみならず歌曲演奏にも力を注いでおり、2019年には『トラエッタ・オペラフェスティヴァル』に招聘教授として招かれ、ニコラ・ヴァン・ヴェストラウト歌曲の演奏とCD録音をおこない、Digressione社からCDも発売されている。

キリスト教と合唱

6月19日(土)10:30～12:00　オンライン開催（Vimeoを利用したオンデマンド配信）

▶ 受講者へのメッセージ

キリスト教にとって歌うことは極めて重要なことで、礼拝においては必ず聖歌が歌われ、それを歌う聖歌隊が存在しました。ただし聖歌隊の役目は聖歌の旋律を全員で歌うことです。それは「斉唱」であって、「合唱」ではありません。9世紀頃から聖歌に対旋律をつけて歌うことでポリフォニーが生まれ、パリ大聖堂のオルガヌムへと発展しますが、その場合もポリフォニーの部分は各声部一人ずつ歌ったので、それは「重唱」ということになります。「合唱」によって歌われた可能性のある最初の曲は14世紀のマショーのミサ曲かもしれません。以後聖歌隊の人数も次第に増えて、17世紀末には53声のミサ曲までが現れることになります。

プロフィール

金澤正剛（国際基督教大学名誉教授）

1934年東京生まれ。1957年に国際基督教大学教養学部人文科学科を卒業。1966年にハーヴァード大学大学院博士課程（音楽学）を修了。その後、同大学ルネサンス研究所（フィレンツェ）の所員、複数の大学の非常勤講師、米国の大学の客員教授などを勤め、1982年に国際基督教大学教授、兼同大学宗教音楽センター所長、2004年に名誉教授。現在日本リュート協会、日本イタリア古楽協会、日本ヘンデル協会等の会長。著書『モンテカシノ音楽手稿譜第871号』（1978、共著、英文）で1980年度 ASCAP賞を、『古楽のすすめ』で1998年日本ミュージック・ペン・クラブ大賞を受賞。他に『中世音楽の精神史』、『キリスト教音楽の歴史』などの著書がある。

「こどものうた」の行方 Vol.4
～成長期の健康的な歌声を求めて～

6月19日(土)13:00～14:30　オンライン開催（Zoomウェビナーを利用したライブストリーミング配信）

▶ 受講者へのメッセージ

長引く"コロナ禍"は、こども達に心身ともに多大な影響を与えています。昨年3月全国一斉に突然行われた休校から約1年3カ月。これまで経験したことの無い厳しい状況の中、静岡児童合唱団の幼児から高校生たちと共に過ごしてきた中で、「合唱」という活動がこどもの成長にとってどれだけ大きな価値のあるものなのか、改めて感じることが多々ありました。その思いを皆様と共有し、静児の練習前に5分～10分間必ず行っている「ブレインジム」をご紹介します。これは私がイギリス留学で声楽の先生から学び、帰国後インストラクターの資格を取りました。この20年間こども達と続けてきた効果をご報告します。からだと心をつなぎ、バランスを整えていく「ブレインジム」。皆様にも体験していただきたいと思います。

プロフィール

戸﨑文葉（静岡児童合唱団指揮者）

幼児から静岡児童合唱団に入団。国立音楽大学楽理科卒業。音楽学を礒山雅氏に師事。トリニティ音楽大学(ロンドン)大学院にて声楽及び音楽教育学を専攻。2011年ブルガリアにて、ソフィア少年少女合唱団の客演指揮を務める。2014年Ｎコン小学校の部課題曲初演指揮し、Ｅテレ「スーパー合唱教室」に出演。国内及び中国国際合唱祭(北京)にて、講習会講師や審査員を務める。静岡交響楽団県民公募による合唱団指導(2006年～)。静岡児童合唱団指揮者、青葉会スペリオル主宰、米国教育キネシオロジー財団公認ブレインジム及びシナプソロジーインストラクター、日本合唱指揮者協会理事。「平成26年度静岡市芸術文化奨励賞」受賞。

声楽発声のための理論と実践

6月19日(土)15:00～16:30　オンライン開催（Zoomウェビナーを利用したライブストリーミング配信）

▶ 受講者へのメッセージ

一昨年は「声楽発声の為の理論と実践」と言うタイトルで対面で行われ、音声生理学者で耳鼻咽喉科医の竹田先生の理論の講座が中心でした。しかし今年は対面による発声法の講座の実現が叶わず、Web配信と言う形になってしまいました。実践と言う事になりますと、かなりの部分で制約が伴う事となりますが、取り敢えずは実験的な趣が多くなる事をお許し願いたいと思います。生の声（音）でないと分からない事があると言う意味です。工夫を凝らして出来る限りの努力をして配信に臨みたいと思います。今回は私（川上）が、まずモデル（若い女性）による、全くシンプルな音声作りを示し、それを響きに変えて行く初歩の初歩を示します。「It is easy !」です。声帯を鳴らした声ではなく、振動した空気の響きが、真の美しい声楽的な声である事を認識していただき、全てが自然であること、楽器（声帯を含めた発声器官）の働きがフレキシブルである事の大切さを知っていただきたいと思います。

川上勝功

プロフィール

川上勝功（声楽家・発声研究者・合唱指揮者・日本声楽発声学会会長）

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。南カリフォルニア大学オペラ研修所にて発声法、発音法、発語法、歌唱表現法を研修。米国留学を機に日本に於ける大学教育を含めた声楽発声指導の遅れを痛感し、自ら発声研究家として研究所を主宰し、海外の著名な指導者を招いて、日本人の声楽発声技術の向上を目指して共同研究を行っている。
全米声楽指導者協会(NATS)会員。国際声楽指導者会議(ICVT)メンバー。日本声楽発声学会会長。二期会、東京室内歌劇場、日本合唱指揮者協会、横浜音楽文化協会各会員。かながわ合唱指揮者クラブ顧問。横浜金沢楽友協会会長。

竹田数章（仙川耳鼻咽喉科院長、桐朋学園・洗足学園大学講師）

日本医科大学医学部大学院卒業、医学博士。中学校より文化庁の能楽養成会に入り、能楽の研修を行う。謡曲を関根祥人、関根祥六の各氏に、能管を森田流笛方、寺井政数氏に師事。医学部入学後、芸能や発声と医学の接点領域に興味を持つ。音声医学を米山文明氏の米山耳鼻咽喉科にて研修。また同氏と呼吸や発声について共同研究を行う。呼吸法指導者であるマリア・ヘッラー女史が開発したAtem-Tonus-Ton呼吸法(呼吸―身体の使い方―声、という呼吸法)について同女史から指導を受ける。現在、仙川耳鼻咽喉科院長、桐朋学園大学音楽学部・洗足学園音楽大学音声生理学講師、日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本声楽発声学会理事。

第二回 田中信昭 合唱指揮マスタークラス

①6月19日(土)10:00～11:30 / ②12:20～13:50 / ③14:10～15:40 / ④6月20日(日)12:00～13:30 / ⑤13:50～15:20
（Vimeoを利用したライブストリーミング配信）

©齋藤亮一

COMPULSORY PIECES

G.P.da Palestrina Missa Brevisより Kyrie

F. Mendelssohn Die Nachtigall

三善 晃 五つの童画より 4.砂時計

西村 朗 レモン哀歌より 3.レモン哀歌

▶ 受講者へのメッセージ

ひとり一人が、今出来る最善を尽くす。
互いに影響しあいながら共に活動をする。
今回もまた、意欲的な若い指揮者のみなさん、歌って下さるEnsemble PVDのみなさんと一緒に、手立てを探求することを楽しみにしています。

プロフィール

田中信昭

1956年東京藝術大学卒業と同時に声楽家有志と東京混声合唱団を創立、常任指揮者に就任。今日まで、作曲家と協力して新しい日本の合唱音楽の創造に力を尽くし、東混定期などで460曲の現代合唱曲を初演している。1997年、桂冠指揮者の称号を贈られる。カラヤン：ベルリンフィル、サヴァリッシュ：フィラデルフィア管弦楽団、マタチッチ：ＮＨＫ交響楽団など150回を超えるオーケストラ公演の合唱指揮をつとめる。オペラの指揮も数多く手がけ、ブリテン「カーリュー・リヴァー」等の教会三部作ほか、多くの日本の室内オペラの初演をしている。1986年毎日芸術賞、2006年朝日現代音楽賞、2010年エクソンモービル音楽賞受賞。2000年勲四等瑞宝章受章。2016年文化功労者。

©齋藤亮一

中嶋 香（Pf.）

桐朋女子高校音楽科を経て同大学ピアノ科卒業。現代作品をレパートリーとして演奏活動を展開している。1987年に始めた東京でのリサイタルは39回を数える。89年からピアノ作品の委嘱活動を続け、柴田南雄、間宮芳生、三善晃、一柳慧、高橋悠治、西村朗、野平一郎、篠田昌伸など内外の作曲家への委嘱作品がこれまでに47作品に及ぶ。東京混声合唱団をはじめ全国各地の合唱団とも共演を続けている。2004年、第22回中島健蔵音楽賞受賞。

モデル合唱団 Ensemble PVD

音楽監督・常任指揮者である藤井宏樹氏と「芸術音楽としての合唱活動」を追求しようと創設。レコーディング、さまざまな音楽イベント、コンサート、教育の場における芸術鑑賞会、Tokyo Cantat出演など幅広い活動を行っている。2009年トロサ国際合唱コンクール<Vocal Group>世俗曲、宗教曲部門にて第3位を受賞。日本アコースティックレコーズより「響層Ⅰ」(2009)「響層Ⅱ」(2011)「三善晃 宇宙への手紙」(2016)「八月の響層」(2018)をリリースされている。

指揮受講生
（→P.19）

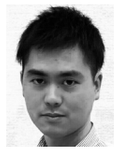
大村燎平

齊藤 諒

柴田慎平

髙橋弘樹

浜田広志


福田晃大

脇坂典佳

Nコン 小学校の部 課題曲『好奇心のとびら』

Nコン作編曲者が語る! オンライン楽曲分析講座①

6月13日(日)13:00～14:30 オンライン開催（Vimeoによるライブストリーミング配信）

▶ 受講者へのメッセージ

NHK全国学校音楽コンクール小学校の部の課題曲『好奇心のとびら』の編曲を担当いたしました横山裕美子です。
一度聴いたら忘れられない印象的なメロディーとリズム、個性的なハーモニーにあふれた原曲に、合唱とピアノのアンサンブルの楽しさ、面白さをプラスして編曲してみました。今回のオンライン講習会では、最初の１小節めから最後の小節に至るまで、１つ１つ楽曲分析をしていきます。この曲の楽しさ、面白さを皆様と共有・共感することが出来れば幸いです。

プロフィール

横山裕美子（作曲家）

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。松本民之助氏、川井学氏に師事。渡米し、ジュリアード音楽院のスタンレー・ウォルフ氏に師事。合唱・音楽劇を中心に作曲活動をしている。音楽会や合唱コンクールにおいて重要なレパートリーのひとつとして欠かせない作品も多い。音楽劇「手ぶくろを買いに」「赤いろうそく」、音楽物語「泣いた赤おに」、合唱曲集「みすゞとの旅」、合唱曲「シーラカンスをとりにいこう」「マホウツカイの日々」「ポトリオフォルパック」等多数。第77回NHK全国学校音楽コンクール小学校の部課題曲「いのちのいっちょうめ」を作曲。現在、東京藝術大学大学院（音楽教育）、東邦音楽大学・同短期大学、東邦音楽大学附属東邦高等学校・東邦第二高等学校で非常勤講師。

NHK全国学校音楽コンクール課題曲講習会

6月20日(日)10:00～11:30 北とぴあ さくらホール（有観客＋ライブストリーミング配信）

©中村年孝

藤原規生（合唱指揮者）

島根県出身。国立音楽大学声楽学科卒業。〈カルメン〉〈魔笛〉〈ジャンニ・スキッキ〉など多数のオペラ・コンサートに出演。また、合唱指揮者として、＜第九＞を始め、＜カルミナブラーナ＞、ヴェルディ＜レクイエム＞等に多数関わってきた。2008年には皇太子殿下がヴィオラでご出演なされた俊友会管弦楽団＜第九＞公演で合唱指揮を、ヴァチカン国際音楽祭2019にて3年連続、西本智実指揮、イルミナートオーケストラ＆合唱団の合唱指揮を務め、サンピエトロ大聖堂での《ローマ法王代理ミサ》では、グレゴリオ聖歌「オラショ」の指揮を務めた。現在、洗足こども短期大学非常勤講師、国立音楽大学附属中学校・高等学校非常勤講師、一般財団法人オペラアーツ振興財団事務局長、日本合唱指揮者協会副理事長・事務局長、JCDA合唱の祭典運営チーフ。

菊池大成（Pf.）

岩手県盛岡市出身。国立音楽大学大学院修了。柳川守氏に師事。ソロリサイタル＆ジョイントリサイタルの他、学生時よりアンサンブル・ピアニストとして活動を開始し、多数と共演。これまでに平吉毅州「ひとつの朝」「わが里程標」「時代の心象」、寺島尚彦「混声合唱とピアノのための《火龍》」、新実徳英「青春のネガティブ」、尾形敏幸「風に寄せて」、瑞慶覧尚子「朝」他の初演をつとめる。現在、国立音楽大学附属中学高等学校講師。同高等学校合唱部ピアニスト。

モデル合唱団 八千代少年少女合唱団（指導／長岡利香子・長岡亜里奈）

1977年に結成。千葉県内を始めとして国内外での多くの演奏会を実施。2000年にハンガリーで行われた「カンテムス国際合唱コンクール」において金賞第１位を受賞。音楽教科書準拠ＣＤや新曲の合唱曲のレコーディングを行うなど、日本の少年少女合唱団を代表する合唱団として活躍を続けている。

Nコン 中学校の部 課題曲『足跡』

Nコン作編曲者が語る! オンライン楽曲分析講座③

6月16日(水)19:30～21:00　オンライン開催（Zoomウェビナーによるライブストリーミング配信）

▶ 受講者へのメッセージ

中学校の部の課題曲ではポップスの編曲が多くとりあげられているが、ポップスを合唱に編曲するとき、いつも考えていることがある。それは、原曲の魅力を損なわずに合唱としての魅力を引き出すこと。みんなで声をあわせて楽しく歌うということを超えて、アンサンブルの喜びや音楽を掘り下げていく愉しみの可能性を持たせること。そして一つの楽曲としての音楽的なドラマを作ること。Little Glee Monsterの皆さんが歌う『足跡』を、中学生が歌う合唱曲『足跡』にするにあたって、わたし自身がどのようなことを考えたのか、合唱作品としてどのような仕組みになっているのかなど、編曲者の立場からお話したいと思います。

プロフィール

上田真樹（作曲家）

都立芸術高校音楽科作曲専攻を経て、東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院音楽研究科博士課程修了。博士（学術）。第12回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第二位入賞。第18回朝日作曲賞（合唱組曲）受賞。初の合唱作品である『夢の意味』（東京混声合唱団委嘱）以来、『終わりのない歌』、『遠くへ』、『あめつちのうた』、NHK全国学校音楽コンクール高校の部課題曲「僕が守る」「ポジティブ太郎～いつでも始まり～」など合唱作品を多く作曲。器楽作品には、オーケストラのための「あけぼの」、『抒情小組曲』など。『心に花を咲かせようプロジェクト』において震災復興活動も行っている。現在、国立音楽大学、桐朋学園大学、各非常勤講師。

NHK全国学校音楽コンクール課題曲講習会

6月19日(土)16:00～17:30　北とぴあ さくらホール（有観客＋ライブストリーミング配信）

仁階堂 孝（合唱指揮者）

尚美学園大学、愛知教育大学教職大学院講師。10余団体の合唱団の常任指揮者の他、各地でのコンクール審査員、合唱祭の講師、客演指揮者としても活躍中である。作曲家と協力しての新作にも意欲的に取り組み、これまでに、大田桜子、川崎智徳、後藤丹、瑞慶覧尚子、高嶋みどり、千原英喜、信長貴富、松下耕、松永ちづる、森山至貴諸氏を始めとする様々な作曲家の作品の初演指揮を行っている。
2016年 全国学校音楽コンクール中学校部門の課題曲「結 - ゆい - 」の参考演奏指揮、全国大会高等学校部門スペシャルステージ「HIRO」の指揮、2017年 課題曲「願いごとの持ち腐れ」のスーパー合唱教室、2021年中学校部門の課題曲「足跡」の参考演奏指揮を担当している。

谷 あや（Pf.）

三重県に生まれる。桐朋女子高等学校を経て同大学ピアノ専攻を卒業。ピアノを藤堂宣子、兼重直文、権藤譲子、大島正泰、ピアノ伴奏法を白石隆生、声楽を増沢雅子の各氏に師事。みえ音楽コンクール、日本クラシック音楽コンクール他多数のコンクールに上位入賞。日演連推薦新人演奏会にて名古屋フィルハーモニーと協演する等、国内外でのリサイタル、オーケストラとの協演、室内楽を中心に活動している。尚美学園大学・大学院演奏助手。日本合唱協会専属ピアニスト。日本演奏連盟会員。

モデル合唱団　松戸ユースクワイア（指導／大津康平）

2021年活動開始。10代から若い社会人約30名で構成され、松戸市内で活動している。

Nコン 高等学校の部 課題曲『彼方のノック』

Nコン作編曲者が語る! オンライン楽曲分析講座②

6月15日(火)19:30～21:00　オンライン開催（Zoomウェビナーによるライブストリーミング配信）

▶ 受講者へのメッセージ

『彼方のノック』は自分で作曲をした作品ですので、当然のことながら「このような音色で演奏して欲しい！」や「rit.やcresc.はこれくらいで！」というような演奏イメージは明確に持っておりますし、作曲家としては、ぜひ自分の感じている音楽を皆様と共有したいと思っております。ただ、実際には演奏者に委ねられている部分も多くあると思いますので、主観、客観の両面から、記譜されている音符達より読み取れる情報を元に演奏の可能性を探っていけたらと思います。『彼方のノック』に限らず、日頃取り組まれている楽曲にも応用いただける、そんな講習会に出来ればと思っております。

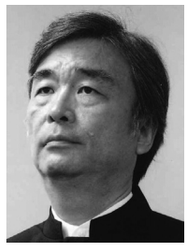
プロフィール

土田豊貴（作曲家）

1981年、東京都生まれ。桐朋学園大学音楽学部・カレッジディプロマ作曲科修了。2010年、女声合唱とピアノための「夢のうちそと」で第21回朝日作曲賞を受賞。第87回NHK全国学校音楽コンクール・高等学校の部課題曲の製作を担当。第3回東京国際合唱コンクール・ユース部門の課題曲制作を担当。近年、合唱曲を中心に多くの委嘱作品を手掛ける傍ら、合唱祭、コンクール、講習会等の各種審査員、講師を務めている。近刊には混声合唱とピアノのための「ひそかなうた」など。これまでに作曲を法倉雅紀、鈴木輝昭、指揮を故・岡部守弘、高関健、ピアノを三輪郁の各氏に師事。

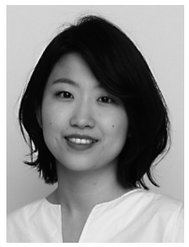
NHK全国学校音楽コンクール課題曲講習会

6月19日(土)18:00～19:30　北とぴあ さくらホール（有観客＋ライブストリーミング配信）



清水敬一（合唱指揮者）

1959年5月東京生まれ。1982年3月早稲田大学理工学部電気工学科卒業。指揮法を遠藤雅古、V.Feldbrill、合唱指揮を関屋晋の各氏に師事。現在およそ20の合唱団の指揮を任される。各地で合唱とオーケストラのための作品のコーラスマスターを務め、初演した作品も数多い。世界合唱シンポジウムに於いて講師を務める。国内外の音楽祭・作曲コンクール・合唱コンクールの審査員を歴任。著書に『合唱指導テクニック』、『合唱指揮者という生き方　私が見た「折々の美景」』。現在、全日本合唱連盟及びJCDA日本合唱指揮者協会理事、東京芸術大学及び附属音楽高等学校講師。



清水 史（Pf.）

桐朋女子高等学校音楽科卒業、卒業演奏会出演。桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究科2年修了。ピアノを斎木ユリ、斎木　隆、練木繁夫、各氏に師事。ウィーン国立音楽大学大学院歌曲伴奏科にてMarkus　Hadulla氏に師事。第９回横浜国際音楽コンクール　一般Ａ部門　第1位。第２回Helmut Deutsch国際リートデュオコンクール　ファイナリスト。これまでに桐朋学園大学声楽科及び指揮科嘱託伴奏員を務める。

モデル合唱団　松戸ユースクワイア（指導／大津康平）

2021年活動開始。10代から若い社会人約30名で構成され、松戸市内で活動している。

スペシャルコンサート

新しい時代のきざし
～次世代の合唱指揮者育成プロジェクト～

6月20日(日)16:30開演（15:45開場）　北とぴあ さくらホール（有観客+ライブストリーミング配信）

スペシャルゲスト：田中信昭 / トークゲスト：古橋富士雄 / 司会：笹口圭吾

1st STAGE ｜ 第二回 田中信昭 合唱指揮マスタークラス 成果発表

Kyrie from "Missa Brevis" G.P. da Palestrina

Die Nachtigall F. Mendelssohn

砂時計 混声合唱組曲『五つの童画』より 曲／三善 晃　詩／高田敏子

レモン哀歌 混声合唱とピアノのための組曲『レモン哀歌』より 曲／西村 朗　詩／高村光太郎

2nd STAGE ｜ JCDAコーラスアカデミー指揮法講座 成果発表

Sicut cervus G.P. da Palestrina

夏の思い出 曲／中田喜直　詩／江間章子

風になれたら 曲／辻田幸徳　詩／佳原早希

3rd STAGE ｜ Ensemble PVD 特別ステージ

O quam gloriosum T.L.de Victoria

Adorna thalamum tuum Sion O.Lassus

Zum Abendsegen F.Mendelssohn

Os justi A.Bruckner

4th STAGE ｜ Combinir di Corista 特別ステージ

Let My Love Be Heard Jake Runestad

Hear my prayer Moses Hogan

Ain'-a That Good News! arr./William Dawson

We Shall Walk Through the Valley in Peace arr./Moses Hogan

Ev'ry Time I Feel the Spirit arr./William Dawson

Amazing Grace arr./Yoshiko Kawamoto

Ride on King Jesus arr./Moses Hogan

スペシャルコンサート

プロフィール

Ensemble PVD

音楽監督・常任指揮者である藤井宏樹氏と「芸術音楽としての合唱活動」を追求しようと創設。レコーディング、さまざまな音楽イベント、コンサート、教育の場における芸術鑑賞会、Tokyo Cantat出演など幅広い活動を行っている。2009年トロサ国際合唱コンクール<Vocal Group>世俗曲、宗教曲部門にて第3位を受賞。日本アコースティックレコーズより「響層Ⅰ」(2009)「響層Ⅱ」(2011)「三善晃　宇宙への手紙」(2016)「八月の響層」(2018)をリリースされている。

藤井宏樹（指揮）

山梨県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を畑中良輔氏に、指揮を黒岩英臣氏に師事。現在、全12団体を有する《樹の会》、Ensemble PVDの音楽監督、合唱団 大洗の講師を務める。国内外のコンクールで1位、2位などの高い評価を得た。近年ではトロサ国際合唱コンクール、全日本合唱コンクール等の審査員、全国各地で行われる合唱講習会の講師、現代作曲家への委嘱活動、Tokyo Cantat等の企画なども積極的に行っているほか、神戸市混声合唱団に客演指揮者として招聘される。21世紀の合唱を考える会合唱人集団「音楽樹」代表幹事。JCDA日本合唱指揮者協会会員。武蔵野音楽大学非常勤講師。

Combinir di Corista

グレゴリオ聖歌から現代の邦人曲に至るまで様々な時代とスタイルの音楽に取り組み、合唱の可能性を追求することを目標に2005年に設立。多様なレパートリー、すなわち「品揃え」にこだわり、コンビニエンスストアーにちなんで団名を命名。定期演奏会、全日本合唱コンクール、チャリティー・コンサート等、積極的な演奏活動を行っている。2019年、第72回全日本合唱コンクール全国大会にて金賞・文部科学大臣賞（第1位）。

松村 努（指揮）

東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。三林輝夫、河瀬柳史の両氏に師事。指揮を黒岩英臣、ヘルムート・リリンク両氏に師事。'91年にはヨーロッパ音楽祭に於いてゲヒンゲン聖歌隊、シュトゥットガルト・バッハ・コレギウムオーケストラの演奏会を指揮、好評を得る。ルネサンスから現代までの宗教作品を指揮活動の中心とし、神奈川・東京の多くの合唱団の指揮をしている。海外の聖堂での演奏経験も多く、特に2000年にはパリのノートルダム寺院に於けるミサを指揮して成功を収めた。JCDA日本合唱指揮者協会副理事長、かながわ合唱指揮者クラブ会員、合唱人集団「音楽樹」会員、ヨコハマ・コーラルフェスト実行委員長。フェリス女学院大学講師。

©齋藤亮一

中嶋 香（Pf.）

桐朋女子高校音楽科を経て同大学ピアノ科卒業。現代作品をレパートリーとして演奏活動を展開している。1987年に始めた東京でのリサイタルは39回を数える。89年からピアノ作品の委嘱活動を続け、柴田南雄、間宮芳生、三善晃、一柳慧、高橋悠治、西村朗、野平一郎、篠田昌伸など内外の作曲家への委嘱作品がこれまでに47作品に及ぶ。東京混声合唱団をはじめ全国各地の合唱団とも共演を続けている。2004年、第22回中島健蔵音楽賞受賞。

織田祥代（Pf.）

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学器楽科ピアノ専攻卒業、同大学院修士課程音楽研究科ピアノ専攻修了。院修了後渡欧し、アムステルダム国際音楽アカデミーマスタークラスにてファイナルコンサートに選抜され出演。「音楽家たちの饗宴　室内楽シリーズ」にて、新日本フィルメンバーと共演。「2台、3台ピアノ協奏曲の夕べ」にて、Mozart、J.S.Bachの協奏曲をオーケストラと共演。プラハ、スメタナホールにてチェコ・プラハ室内管弦楽団と共演。現在ソロ活動の他に、室内楽、声楽、合唱、コンクール伴奏、講習会等で幅広い演奏活動を行っている。

第二回 田中信昭 合唱指揮マスタークラス 受講生 プロフィール

大村燎平

東京工業大学を卒業、同大学院修了。大学合唱団にて学生指揮者を務めたのち、柳嶋耕太の主催する合唱指揮ゼミで合唱指揮法を学ぶ。2019年にEast Asia Choir Festivalに日本メンバーとして参加。Hugo Distler Vokalensemble、Tokyo Bay Youth Choirメンバー。Somnium Vocalis代表。

柴田慎平

オペラを中心に活動し、100公演以上の市民オペラを成功に導いてきた。2021年6月日生劇場主催公演「ラ・ボエーム」では、副指揮者を務め、プロのオペラ制作現場でのキャリアをスタートさせた。

福田晃大

九大混声合唱団で学生指揮を務めたことをきっかけに、卒業後も合唱指揮を続ける。松原千振氏の元で合唱指揮の研鑽を積む。田中信昭合唱指揮マスタークラス（東京　2019）を受講。現在、Chor Gozar指揮者、混声合唱団トニカ副指揮者。

脇坂典佳

２０１４年に近大混声合唱団を設立し指揮者を務める。第３４回宝塚国際室内合唱コンクールに出場。名古屋ユースクワイヤ２０２０＋１指揮者、第１０回JCAユースクワイヤメンバー。合唱指揮法を松原千振氏に師事。

齊藤 諒

東京出身。2015年、早稲田大学コール・フリューゲルにて学生指揮者を務め、合唱指揮活動を始める。現在、東京藝術大学音楽学部楽理科に在籍。音楽学から得られる広範な知見をもとに、説得力のある演奏ができる指揮者を目指している。

髙橋弘樹

2005年より大阪府立学校音楽科教諭、現在大阪府立生野高等学校に勤務。

浜田広志

オーベルヴィリエ地方音楽院合唱指揮科・古楽科(バロック声楽)修了。8thJCAユースクワイアのアシスタントコンダクターを勤める。Ensemble Sacrée Musique代表。電気通信大学グリークラブ常任指揮者。

JCDAコーラスアカデミー 指揮法講座 受講生 プロフィール

伊藤 心

Coro Oración団内指揮者。田園調布雙葉学園OG聖歌隊指揮者。第7回 若い指揮者のための合唱指揮コンクールにて初見課題賞、ルネサンス課題賞、エルヴィン・オルトナー賞を受賞。第一回田中信昭合唱指揮マスタークラス受講生。

神足有紀

東京音楽大学声楽科卒業、同大学院声楽専攻独唱研究領域２年在学中。水野貴子、釜洞祐子、武田正雄各氏に師事。2018年より松村努指揮Combinir di Coristaに所属し合唱を学ぶ。JCDA講座を契機に合唱指揮に目覚め、本日初舞台を迎える

佐々木純哉

1996年生まれ、広島出身。神戸大学卒。同大学混声合唱団アポロン指揮者を経て、現在、Vocal Ensemble 歌家の指揮者。第11回日本バッハコンクール金賞などピアノの入賞歴をもつ。指揮法を斉田好男氏に師事。

柴田慎平

オペラを中心に活動し、100公演以上の市民オペラを成功に導いてきた。2021年6月日生劇場主催公演「ラ・ボエーム」では、副指揮者を務め、プロのオペラ制作現場でのキャリアをスタートさせた。

NO PHOTO

丹野空羽

1999年青森市出身。現在東京音楽大学に在学中。大学では専攻の声楽に加えて指揮やコントラバスなど音楽を多面的に学ぶほか、都内複数の合唱団に所属し宗教音楽を中心に日々研鑽を積んでいる。Kammerchor Federweißer Tokyo副指揮者。

中島晶子

上野学園大学音楽学部音楽学科声楽コース卒業。同大学音楽専攻科修了。二期会オペラ研修所第60期 修了。モーツアルテウム音楽大学夏期国際音楽アカデミーにて受講しディプロマを取得。

JCDA合唱の祭典2021　第21回北とぴあ合唱フェスティバル スタッフ

製作

日本合唱指揮者協会　清水 昭

制作

制作委員会

©中村年孝

運営チーフ
藤原規生

運営サブチーフ
中館伸一

講習会チーフ
福永一博

スペシャルコンサート制作委員長

笹口圭吾、竹内雅挙

制作委員

JCDA日本合唱指揮者協会理事会
清水 昭、相澤直人、辻 秀幸、名島啓太、藤原規生、松村努
浅見佳奈子、安達陽一、伊東恵司、笹口圭吾、柴山秀明、清水敬一
大門康彦、竹内雅挙、戸﨑文葉、中館伸一、中村拓紀、仁階堂 孝
沼丸晴彦、福永一博、藤澤幸義子
大津康平、大貫浩史、金田典子、真下洋介

事務局

打田のり子、合志圭子、真崎恵子、美川明菜、山本由美恵

協力委員

星野隆行（音楽之友社）、早川由章（カワイ出版）

デザイン

赤坂祐輔

第19回北とぴあ合唱フェスティバル初日の風景

JCDA《賛助会員》御芳名

ICEC国際文化交流センター／池田規久雄／(株)NHKビジネスクリエイト／(株)合唱の家おおば
(株)KRSカトヤ・レコーディング・サービス／C-Pro LLC 海外公演事務局／晋友会合唱団
パナムジカ／文化芸能国際交流機構(ジェクサ)／舫の会　(50音順、敬称略)

★日本合唱指揮者協会《賛助会員》制度へのご参加のお願い！

これからも日本合唱指揮者協会は魅力ある社会作りに貢献してまいります。 皆様の深いご理解と温かいご支援をよろしくお願いいたします。
●会員の特典◎本協会主催の演奏会にご招待いたします。◎本協会主催の演奏会プログラムを進呈します。尚、ご希望の方には録音CDをさしあげます。
◎指揮者ニュースを満載した会報等を進呈します。　etc.……。◎詳細は事務局（電話03-3952-7207）までお問い合わせください。

JCDA 日本合唱指揮者協会

理事長 清水 昭

副理事長 相澤直人　辻 秀幸　名島啓太　藤原規生　松村 努

理事 浅見佳奈子　安達陽一　伊東恵司　笹口圭吾　柴山秀明　清水敬一　大門康彦　竹内雅挙　戸﨑文葉　中館伸一　中村拓紀　仁階堂 孝　沼丸晴彦　福永一博　藤澤幸義子

実行委員 大津康平　大貫浩史　金田典子　真下洋介

監事 粕谷宏美　境敬彦

顧問 金澤正剛

常任相談役 古橋富士雄

相談役 浅井敬壹　松浦ゆかり

事務局長 藤原規生

事務局次長 笹口圭吾　中館伸一

相澤直人　浅井敬壹　浅井順子　浅沼和志　浅野深雪　浅見佳奈子　足達勝子　安達陽一　阿部佳津子　雨森文也　有村祐輔　安藤由布樹　飯沼京子　五十嵐健作　石井幸代　石橋久和　石原祐介　磯部周平　市瀬寿子　井辻紀一　伊東恵司　伊東 剛　井戸清輔　田舎片雄貴　井上 慧　今井 学　岩﨑洋一　岩田正彦　岩本達明　岩本 徳　上田収穂

上西一郎　内田 功　梅山 登　江川典子　大久保正義　太田 務　大津康平　大貫浩史　大沼ケイ　岡本尚子　岡山和子　小川昌文　奥田紘治　奥寺由起子　小黒喜代美　押切貞子　柿﨑泰裕　掛江みどり　粕谷宏美　片倉 淳　片野秀俊　片山みゆき　勝部俊行　加藤雅子　金川明裕　蟹江春香　金子 央　金田典子　辛川容子　川上勝功　川﨑有希子

川妻干邦　菊村隆史　岸 信介　岸本雅弘　木下朝滋　木村裕平　草原哲広　窪田 卓　倉藤理大　栗山文昭　黒川和伸　桑原妙子　桑山 博　小池芳弘　合田芳弘　小濱 明　小向宏明　近藤 基　犀川裕紀　斉田好男　齊藤日出男　境 敬彦　阪本健悟　坂本恒太　坂本雅代　佐古宜道　笹口圭吾　笹倉 強　里井宏次　佐藤 匠　佐藤洋人

佐藤美紀子　佐藤陽三　澤田洋一　鹿内芳仁　志澤 彰　雫石 環　篠田正臣　柴 惠子　柴 郭惠　柴田由美　柴山秀明　清水 昭　清水敬一　清水雅彦　白﨑良治　末廣正巳　末吉嘉子　須賀敬一　須﨑由紀子　鈴木和江　鈴木茂明　鈴木成夫　鈴木康夫　須藤和子　関根裕子　芹澤卓弥　曽田俊和　大門康彦　髙坂良修　髙嶋邦幸　髙野洋子

髙橋和子　髙橋基之　高嶺万喜与　滝沢優子　詫磨眞樹子　田口恭子　竹内雅挙　竹田享司　武田雅博　田代和久　田中 明　田中登志生　田中豊輝　田中秀男　田中安茂　谷口紀子　辻 志朗　辻 秀幸　辻村成子　辻村美保　土屋奈津子　寺澤直樹　当麻礼子　戸﨑裕子　戸﨑文葉　外山浩爾　内藤裕史　永ひろこ　永井英晴　仲子誠一　中澤敏子

長澤明正　中館伸一　永友博信　中西秀樹　中村拓紀　中村雅夫　中村禎子　名島啓太　仁階堂孝　西 康之　西岡茂樹　西牧 潤　西本佳奈子　沼丸晴彦　野本明裕　野本立人　橋本 剛　蓮沼喜文　長谷川冴子　長谷部律子　初村則子　早川幹雄　林 擴子　原田昌江　樋本英一　平井 保　平林清志　平松剛一　廣石雄司　福井克明

福嶋浩美　福田美知子　福田美保　福永一博　藤井 正　藤井宏樹　藤澤幸義子　藤原規生　渕上貴美子　渕上千里　古橋富士雄　本城正博　真下洋介　益田奈美子　松浦ゆかり　松下 耕　松田順子　松田乃利子　松永沙耶香　松村 努　間谷 勇　三浦 彰　三浦真理子　三木公子　南方隼紀　湊 晋吾　箕輪 健　宮崎誠二　三好草平　向井正雄　村田和子

村松賢治　元橋康男　森田悠介　森永淳一　森本真由美　矢野としゑ　山口英樹　山瀬泰吾　山田 緑　山根明子　山宮正浩　山本哲也　山脇卓也　横田清文　横山琢哉　吉田公子　吉田 顕　吉田孝古麿　吉田千鶴子　吉野恵美子　依田 浩　渡辺佳代　渡辺公男　渡辺三郎　渡辺宏子